

2009年（平成21年）海外邦人援護統計

目 次

I	事件・事故等総援護件数の特徴と推移	1
1.	2009年（平成21年）の特徴	1
2.	援護件数・人数の推移総括表	2
3.	地域別援護件数・人数の推移総括表	3
4.	援護件数の多い在外公館上位20公館	4
5.	2009年（平成21年）の主な事件・事故の事例	5
6.	主な犯罪加害及びその他の事例の特徴	6
7.	海外で邦人が被害者となった主な殺人事件	6
8.	麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び被安否照会者の性別・年齢別特徴	7
II	海外邦人援護統計の推移と2009年の内訳（グラフ）	9
III	事件・事故等援護関係統計（全世界及び地域別内訳）	16

2010年（平成22年）7月

外務省 領事局 海外邦人安全課

I. 海外邦人援護件数の特徴と推移

1. 2009年（平成21年）の特徴

(1) 2009年において我が国在外公館及び財団法人交流協会が取り扱った海外における事件・事故等に係わる総援護件数は16,963件（対前年比3.66%増）で、総援護対象者数は18,843人（同4.12%増）であった。

(2) 『犯罪加害』は501件（555人）であった。主なものは、「出入国・査証関係犯罪」（122件、134人）、「道路交通法違反」（65件、65人）、「傷害・暴行」（60件、60人）、「麻薬」（49件、56人）、「詐欺・同未遂」（28件、30人）である。

(3) 『犯罪被害』は5,495件（5,970人）であり、全体の約3分の1を占めているが、そのうち最も多いのは「窃盗被害」（4,334件、4,700人）である。次いで「詐欺被害」（439件、461人）、「強盗被害」（387件、447人）がこれに続く。

(4) 『事故・災害』では、「交通事故」（207件、270人）が最も多く、その死亡者数は30人であった。「水難事故」（22件、26人）がこれに続く。

(5) 地域別では、アジア地域が7,305件（8,042人）と前年に引き続き最も多く、次いで欧州地域（4,056件、4,428人）、北米地域（3,409件、3,840人）、中南米地域（736件、941人）、大洋州地域（734件、769人）、アフリカ地域（432件、482人）、中東地域（291件、341人）となっており、アジア地域、北米地域、欧州地域及びアフリカ地域の取り扱い件数に増加がみられる。

(6) 在外公館別の援護件数を見ると、取り扱い件数の多い順では、1位在タイ大使館（1,193件）、2位在上海総領事館（1,071件）、3位在フィリピン大使館（927件、前年4位）、次いで在ロサンゼルス総領事館（742件、前年3位）、在フランス大使館（684件、前年7位）となっており、特に在タイ大使館は17年連続で援護件数が全在外公館中、最多となっている。

〈 件 数 〉

	総件数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中東	アフリカ
事故・災害	353	内 訳	155	65	27	51	20	6	29
戦闘・暴動	3		2	0	0	0	0	1	0
犯罪加害	501		272	150	13	42	14	7	3
犯罪被害	5,495		1,723	541	360	2,433	205	60	173
疾病	949		617	71	31	91	15	30	94
行方不明	101		60	12	4	19	2	2	2
その他の	9,561		4,476	2,570	301	1,420	478	185	131
総数	16,963		7,305	3,409	736	4,056	734	291	432

〈 人 数 〉

	総人数		アジア	北米	中南米	欧州	大洋州	中東	アフリカ
事故・災害	456	内 訳	190	83	38	69	27	8	41
戦闘・暴動	1		0	0	0	0	0	1	0
犯罪加害	555		305	160	17	43	17	10	3
犯罪被害	5,970		1,795	598	416	2,681	221	60	199
疾病	1,070		681	81	36	125	21	30	96
行方不明	110		63	16	4	21	2	2	2
その他の	10,681		5,008	2,902	430	1,489	481	230	141
総数	18,843		8,042	3,840	941	4,428	769	341	482

2. 援護件数・人数の推移総括表

年	総件数	内容別件数			総人数	死亡者数	負傷者数	海外渡航者数
		強盗・窃盗・詐欺 (被害犯罪・財産犯)	遺失 (旅券・財布等)	その他 (事故・犯罪加害・他案件)				
2000年	14,754件	7,132件	3,261件	4,361件	17,141人	439人	881人	17,818,590人
前年比増減率	8.73%	10.03%	4.12%	10.27%	9.48%	-4.98%	46.83%	8.93%
2001年	14,118件	7,714件	2,311件	4,093件	16,745人	467人	684人	16,215,657人
前年比増減率	-4.31%	8.16%	-29.13%	-6.15%	-2.31%	6.38%	-22.36%	-9.00%
2002年	14,364件	6,837件	2,166件	5,361件	16,996人	516人	670人	16,522,804人
前年比増減率	1.74%	-11.37%	-6.27%	30.98%	1.50%	10.49%	-2.05%	1.89%
2003年	14,472件	5,947件	2,508件	6,017件	17,426人	483人	691人	13,296,330人
前年比増減率	0.75%	-13.02%	15.79%	12.24%	2.53%	-6.40%	3.13%	-19.53%
2004年	16,023件	6,066件	3,086件	6,871件	21,871人	564人	788人	16,831,112人
前年比増減率	10.72%	2.00%	23.05%	14.19%	25.51%	16.77%	14.04%	26.58%
2005年	15,955件	6,022件	3,231件	6,702件	19,503人	615人	669人	17,403,565人
前年比増減率	-0.42%	-0.73%	4.70%	-2.46%	-10.83%	9.04%	-15.10%	3.40%
2006年	16,523件	5,839件	3,157件	7,527件	18,771人	484人	590人	17,534,565人
前年比増減率	3.56%	-3.04%	-2.29%	12.31%	-3.75%	-21.30%	-11.81%	0.76%
2007年	15,964件	5,341件	3,122件	7,501件	17,643人	547人	610人	17,294,935人
前年比増減率	-3.38%	-8.53%	-1.11%	-0.35%	-6.01%	13.02%	3.39%	-1.37%
2008年	16,364件	5,229件	2,813件	8,322件	18,098人	615人	600人	15,987,250人
前年比増減率	2.51%	-2.10%	-9.90%	10.95%	2.58%	12.43%	-1.64%	-7.56%
2009年	16,963件	5,160件	2,672件	9,131件	18,843人	513人	443人	15,445,684人
前年比増減率	3.66%	1.32%	-5.01%	9.72%	4.12%	-16.59%	-26.17%	-3.39%

注(1) 海外渡航者数は歴年。邦人援護件数は1994年度(平成6年度)までは会計年度ごと、1995年(平成7年)以降は歴年ごとに取りまとめたもの。

(2) 死亡者数、負傷者数には、犯罪被害によるもののほか、事故や疾病によるもの、自殺等が含まれる。

(3) 海外渡航者数は法務省入国管理局統計を採用した。

3. 地域別援護件数・人数の推移総括表

年	アジア		北米		中南米		欧州		大洋州		中近東		アフリカ		総数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
2000年	5,015	5,943	3,230	3,595	423	501	4,763	5,403	905	1,207	162	180	256	312	14,754	17,141
前年比増減率	6.32%	9.65%	6.18%	2.42%	2.17%	-11.64%	12.39%	12.61%	26.04%	45.95%	-5.26%	-4.26%	-4.83%	-10.09%	8.73%	9.48%
2001年	5,375	5,989	2,794	3,945	450	592	4,285	4,798	895	1,054	100	116	219	251	14,118	16,745
前年比増減率	7.18%	0.77%	-13.50%	9.74%	6.38%	18.16%	-10.04%	-11.20%	-1.10%	-12.68%	-38.27%	-35.56%	-14.45%	-19.55%	-4.31%	-2.31%
2002年	5,643	7,242	2,668	2,913	468	552	4,286	4,740	972	1,115	112	123	215	311	14,364	16,996
前年比増減率	4.99%	20.92%	-4.51%	-26.16%	4.00%	-6.76%	0.02%	-1.21%	8.60%	5.79%	12.00%	6.03%	-1.83%	23.90%	1.74%	1.50%
2003年	5,645	7,019	2,677	3,036	559	704	4,120	4,802	1,026	1,175	124	143	321	547	14,472	17,426
前年比増減率	0.04%	-3.08%	0.34%	4.22%	19.44%	27.54%	-3.87%	1.31%	5.56%	5.38%	10.71%	16.26%	49.30%	75.88%	0.75%	2.53%
2004年	6,200	10,871	2,839	3,097	708	913	4,657	5,131	1,128	1,258	203	226	288	375	16,023	21,871
前年比増減率	9.83%	54.88%	6.05%	2.01%	26.65%	29.69%	13.03%	6.85%	9.94%	7.06%	63.71%	58.04%	-10.28%	-31.44%	10.72%	25.51%
2005年	6,263	7,033	2,833	4,374	756	961	4,441	5,159	1,061	1,192	281	321	320	463	15,955	19,503
前年比増減率	1.02%	-35.30%	-0.21%	41.23%	6.78%	5.26%	-4.64%	0.55%	-5.94%	-5.25%	38.42%	42.04%	11.11%	23.47%	-0.42%	-10.83%
2006年	6,911	7,845	2,906	3,096	605	864	4,652	5,001	816	914	270	495	363	556	16,523	18,771
前年比増減率	10.35%	11.55%	2.58%	-29.22%	-19.97%	-10.09%	4.75%	-3.06%	-23.09%	-23.32%	-3.91%	54.21%	13.44%	20.09%	3.56%	-3.75%
2007年	6,924	7,618	2,732	2,877	734	923	4,210	4,630	731	793	245	278	388	524	15,964	17,643
前年比増減率	0.19%	-2.89%	-5.99%	-7.07%	21.32%	6.83%	-9.50%	-7.42%	-10.42%	-13.24%	-9.26%	-43.84%	6.89%	-5.76%	-3.38%	-6.01%
2008年	6,941	7,549	3,271	3,485	754	1,043	3,931	4,343	768	824	293	328	406	526	16,364	18,098
前年比増減率	0.25%	-0.91%	19.73%	21.13%	2.72%	13.00%	-6.63%	-6.20%	5.06%	3.91%	19.59%	17.99%	4.64%	0.38%	2.51%	2.58%
2009年	7,305	8,042	3,409	3,840	736	941	4,056	4,428	734	769	291	341	432	482	16,963	18,843
前年比増減率	5.24%	6.53%	4.22%	10.19%	-2.39%	-9.78%	3.18%	1.96%	-4.43%	-6.67%	-0.68%	3.96%	6.40%	-8.37%	3.66%	4.12%

注：下段は対前年比

4. 援護件数の多い在外公館上位20公館

順位	在外公館名	件数	順位	在外公館名	件数
1	在タイ日本国大使館	1,193件	11	在バルセロナ日本国総領事館	404件
2	在上海日本国総領事館	1,071件	12	在シドニー日本国総領事館	356件
3	在フィリピン日本国大使館	927件	13	在広州日本国総領事館	289件
4	在ロサンゼルス日本国総領事館	742件	14	在瀋陽日本国総領事館	254件
5	在フランス日本国大使館	684件	15	在ホーチミン日本国総領事館	243件
6	在ニューヨーク日本国総領事館	668件	16	在ホノルル日本国総領事館	238件
7	在英国日本国大使館	657件	17	在サンフランシスコ日本国総領事館	236件
8	在大韓民国日本国大使館	641件	18	在イタリア日本国大使館	231件
9	在香港日本国総領事館	629件	19	在ミラノ日本国総領事館	223件
10	在中華人民共和国日本国大使館	451件	20	在チェンマイ日本国総領事館	219件

(参考) 交流協会台北事務所：152件

5. 2009年（平成21年）の主な事件・事故の事例

（1）事故・災害

- 航空事故
 - 1月 ニューヨーク発乗員・乗客約150人が搭乗した航空機がハドソン川に不時着したが邦人2名は無事救助された。
 - 8月 パプア・ニューギニアのポートモレスビー発の国内線小型航空機が目的地近くのココダ近辺で墜落し、邦人1名が遺体で発見された。
 - 8月 カリフォルニア州において邦人が操縦していた小型プロペラ機が墜落し、邦人2名が死亡した。
- 登山事故
 - 1月 アフリカのキリマンジャロ山において登山中であった邦人が死亡した。
 - 4月 ネパールのエベレスト周辺においてトレッキングに参加していた邦人が体調不良で休息していたが死亡した。
 - 5月 ヒマラヤ山脈クワンデ峰において邦人登山者4名のうち2名が滑落により死亡した。
 - 12月 アルゼンチンのサンタ・クルス州において単独で登山中であった邦人1名が滑落により死亡した。
- 水難事故
 - 2月 ハワイ島のビーチで遊泳中だった邦人1名が大波に巻き込まれ、搬送先の病院で死亡が確認された。
 - 3月 ハワイにおいてネイチャー・ツアーに参加していた邦人が川を横断中に濁流に流され死亡した。
 - 6月 フィリピンのセブ島においてダイビングの練習中に邦人1名が死亡した。
- レジャー事故
 - 2月 ニュージーランドの南島において邦人が操縦していたグライダーが墜落し、邦人が死亡した。
- 交通事故
 - 1月 チリのサンチャゴ近郊において邦人が運転する車両がトラックと衝突し、運転していた邦人が負傷、同乗していた邦人2名が死亡した。
 - 12月 オーストラリア東部のフレーザー島の砂浜を走行していた車両が横転し、邦人1名が死亡、その他邦人7名が負傷した。
- 船舶事故
 - 3月 タイのプーケット沖の海上において、ダイビング客を乗せた船が局地的暴風雨により転覆し、邦人4名のうち3名は救助されたが、1名は遺体で発見された。
- その他の事故
 - 1月 タイのバンコク市エカマエ地区のディスコにおいて火災が発生し、邦人4名のうち1名が死亡、3名が重軽傷を負った。
 - 11月 韓国釜山市内の室内実弾射撃場において火災が発生し、同射撃場を訪れていた邦人観光客11名が巻き込まれ、10名が死亡し、1名が重傷を負った。

（2）犯罪被害

- 殺人・同未遂 「海外で邦人が被害者となった主な殺人事件」（P. 6）参照
- 強盗・同未遂 欧州地域では路上強奪及び羽交い締め強盗の被害が多数報告された。アジア地域では引き続き睡眠薬強盗が多発している。また、中南米地域及びアフリカ地域では複数名のグループによる凶器を用いた路上強盗や侵入強盗が多発している。強盗被害の手口は地域によって異なる。
- 窃盗・同未遂 欧州地域において、レストランや列車、バスなどの交通機関の車内、ホテルのロビー等での置き引き被害や話しかけられた際に財布をすられる等のスリ被害が多発した。
- 詐欺・同未遂 タイ、ベトナム（特にホーチミン）、中国（特に上海）などアジア地域で、邦人旅行者の「ぼったくりバー」での被害及び「いかさま賭博」に巻き込まれる事件が多く報告された。

6. 主な犯罪加害及びその他の事例の特徴

(1) 犯罪加害

- 出入国・査証関係犯罪 不法滞在、不法入国、密入国幫助等の出入国管理法違反、旅券・査証の偽変造事犯等が含まれる。
- 詐欺 偽造クレジットカード行使や、会社・知人等から金銭をだまし取る等の事例が発生した。
- 麻薬犯罪 「麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴」(P. 7) 参照

(2) その他の事例

- 疾病 疾病による死亡者は、292人を数え全死亡者の約60%を占める。
- 精神傷害 「精神障害者の性別・年齢別特徴」(P. 8) 参照
- 遺失 本人の不注意によるものが大半を占める。
- 出入国・査証関係 在留邦人、邦人旅行者が移民局等とトラブルを起こしたケースが含まれる。逮捕又は国外退去措置を受けるに至った場合には犯罪加害として集計した。
- 所在調査 遺産相続、不動産登記、用地買収等のため、海外に転出した親族に連絡を取る必要がある場合、弁護士法23条の2による照会、官公庁、裁判所及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。

7. 海外で邦人が被害者となった主な殺人事件

- 1月 米国サンフランシスコ市在住の邦人男性が駐車場において刺殺された。
- 2月 モンゴルのウランバートル市内の路上において邦人女性が殺害され、財布等の所持品が奪われた。
- 5月 ブラジルのサンパウロ州在住の邦人夫妻が自宅室内において刺殺された。
- 7月 パラグアイのアマンバイ県において邦人が経営する雑貨店に強盗が押し入り、邦人男性が殺害され、妻の邦人も負傷した。
- 10月 米国テネシー州ナッシュビル市のホテルに宿泊していた邦人男性がホテル内で銃で撃たれて死亡した。
- 11月 フィリピンのパンガシナン州において土地取引のトラブルにより頭部に銃弾を受け殺害された。
- 12月 インドネシアのバリ島クタ地区の自宅において在留邦人の女性が絞殺された。
- 12月 ベネズエラ的首都カラカス近郊パルータ市において邦人男性旅行者が左胸に銃撃を受け死亡した。

8. 麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び被安否照会者の性別・年齢別特徴

(1) 麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	34	27	7	0	1	10	8	4	5	4	2	10	16	8
北米地域	6	5	1	0	0	2	2	1	0	0	1	4	0	2
中南米地域	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
欧州地域	5	4	1	0	2	1	0	2	0	0	0	1	2	2
大洋州地域	4	3	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4	0
中東地域	5	1	3	1	1	2	1	0	1	0	0	0	5	0
アフリカ地	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	56	42	13	1	4	16	13	9	7	4	3	15	27	14

(2) 疾病者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	681	502	150	29	56	49	68	82	102	254	70	334	276	71
北米地域	81	36	41	4	6	5	9	9	9	21	22	36	35	10
中南米地域	36	22	14	0	0	10	6	3	5	10	2	10	26	0
欧州地域	125	80	45	0	16	9	8	14	7	39	32	29	93	3
大洋州地域	21	18	3	0	0	1	2	4	0	3	11	5	9	7
中東地域	30	25	5	0	3	8	4	5	3	6	1	15	14	1
アフリカ地	96	59	37	0	1	27	37	6	10	12	3	66	30	0
合 計	1,070	742	295	33	82	109	134	123	136	345	141	495	483	92

(3) 精神障害者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	118	71	46	1	2	16	35	25	25	11	4	34	56	28
北米地域	92	36	55	1	0	19	22	13	7	12	19	47	33	12
中南米地域	10	5	5	0	0	2	2	2	2	1	1	5	4	1
欧州地域	71	21	46	4	2	17	22	9	3	8	10	30	25	16
大洋州地域	16	8	8	0	0	5	5	0	0	2	4	8	7	1
中東地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ地	2	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0
合 計	309	142	161	6	4	60	86	49	37	35	38	125	126	58

(4) 行方不明者の性別・年齢別特徴

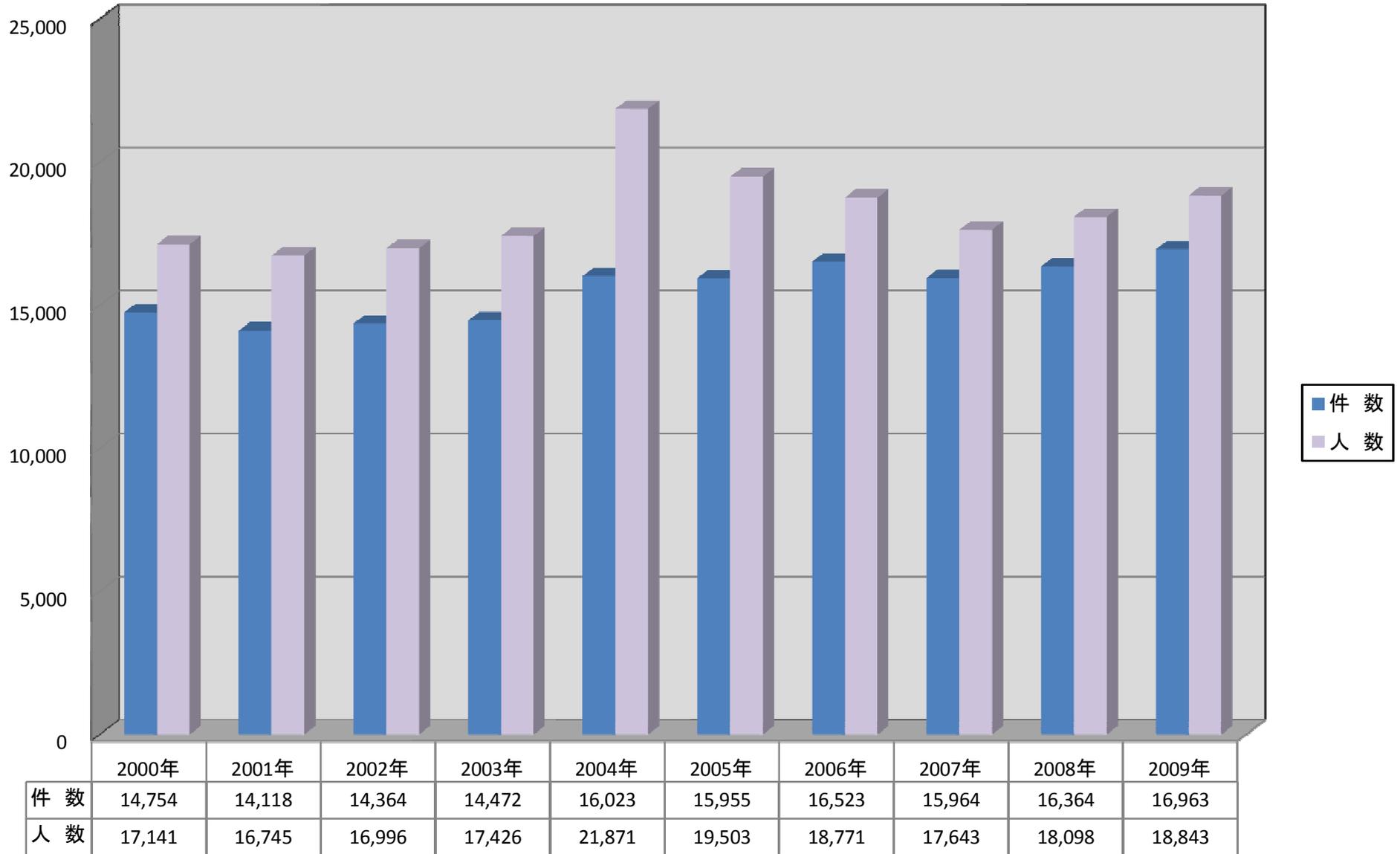
地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	63	42	21	0	2	8	14	8	6	17	8	14	40	9
北米地域	16	6	10	0	1	0	2	0	3	3	7	4	10	2
中南米地域	4	3	1	0	0	3	1	0	0	0	0	1	3	0
欧州地域	21	12	9	0	1	2	3	1	1	7	6	5	10	6
大洋州地域	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
中東地域	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0
アフリカ地	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0
合 計	110	67	43	0	4	14	21	10	10	29	22	26	67	17

(5) 被安否照会者の性別・年齢別特徴

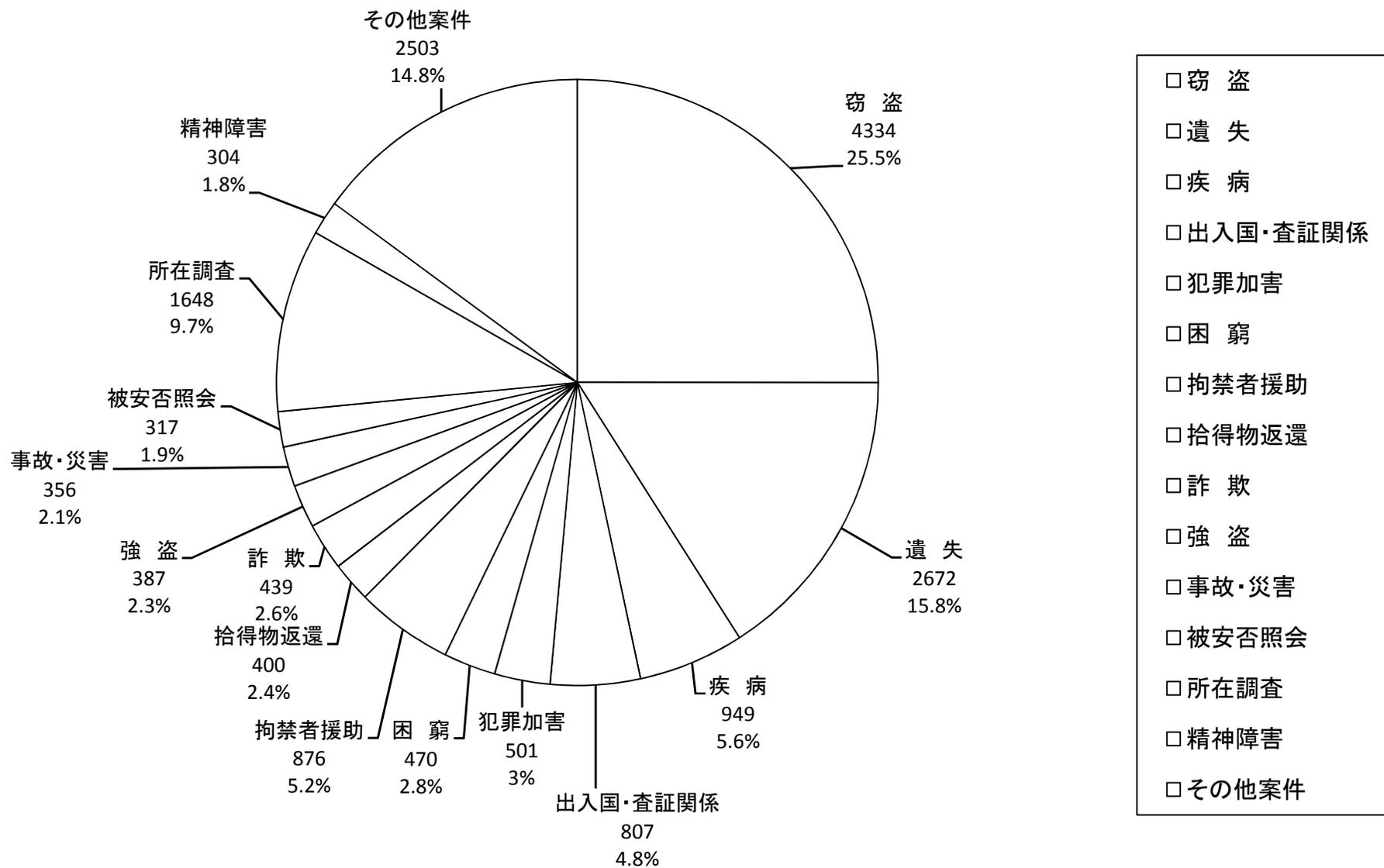
地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	191	112	41	38	10	41	26	19	21	16	58	67	55	69
北米地域	47	20	25	2	2	10	8	6	3	4	14	27	10	10
中南米地域	14	6	8	0	0	6	2	1	1	3	1	6	8	0
欧州地域	68	35	33	0	1	14	11	7	3	10	22	34	27	7
大洋州地域	30	5	25	0	0	8	5	6	1	0	10	23	4	3
中東地域	45	2	23	20	0	1	1	1	1	0	41	22	23	0
アフリカ地	8	8	0	0	0	0	1	3	0	3	1	1	6	1
合 計	403	188	155	60	13	80	54	43	30	36	147	180	133	90

II. 海外邦人援護統計の推移と2009年の内訳(グラフ)

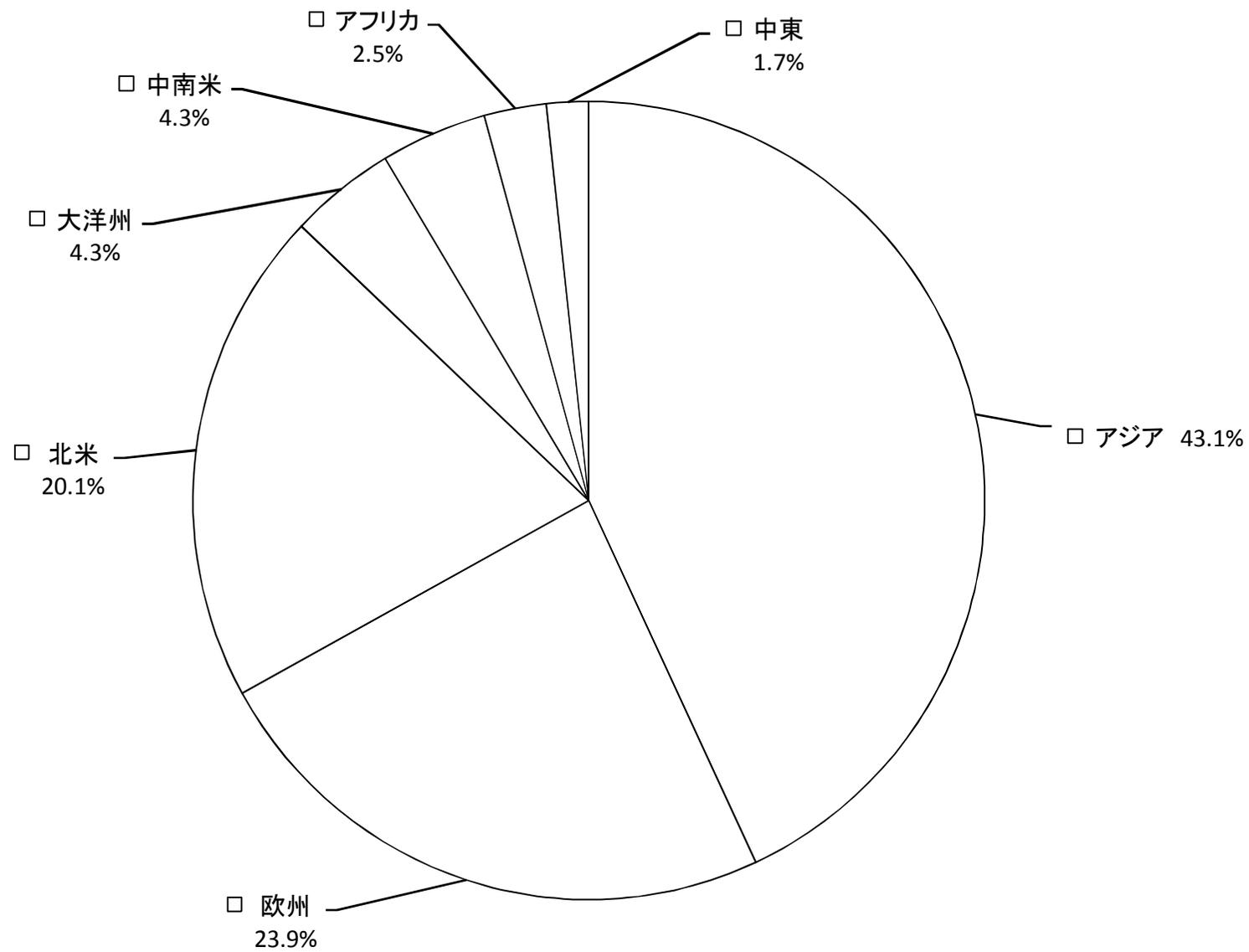
邦人援護件数・人数の推移(過去10年間)



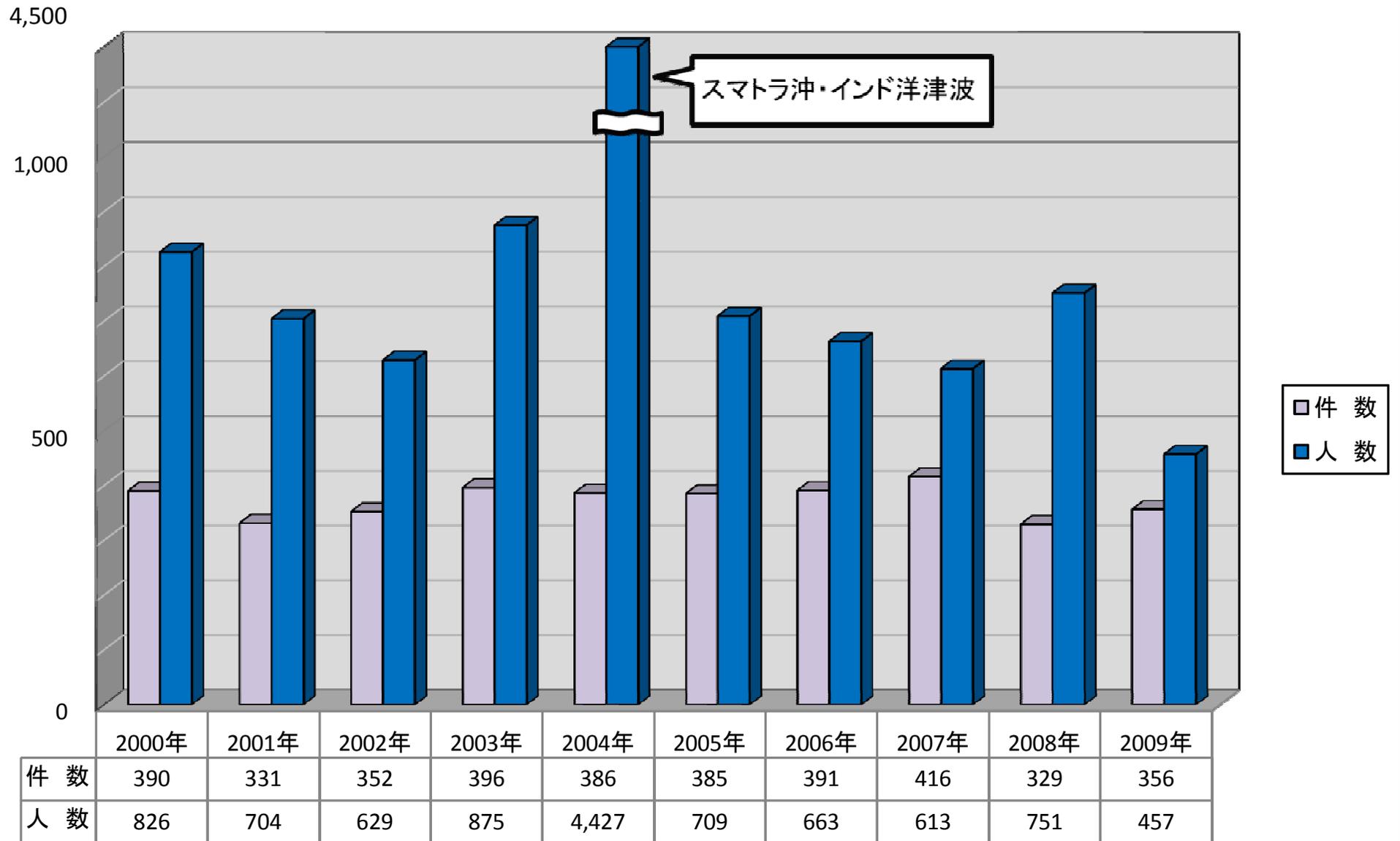
2009年海外邦人援護件数の事件別内訳



2009年海外邦人援護統計の地域別内訳



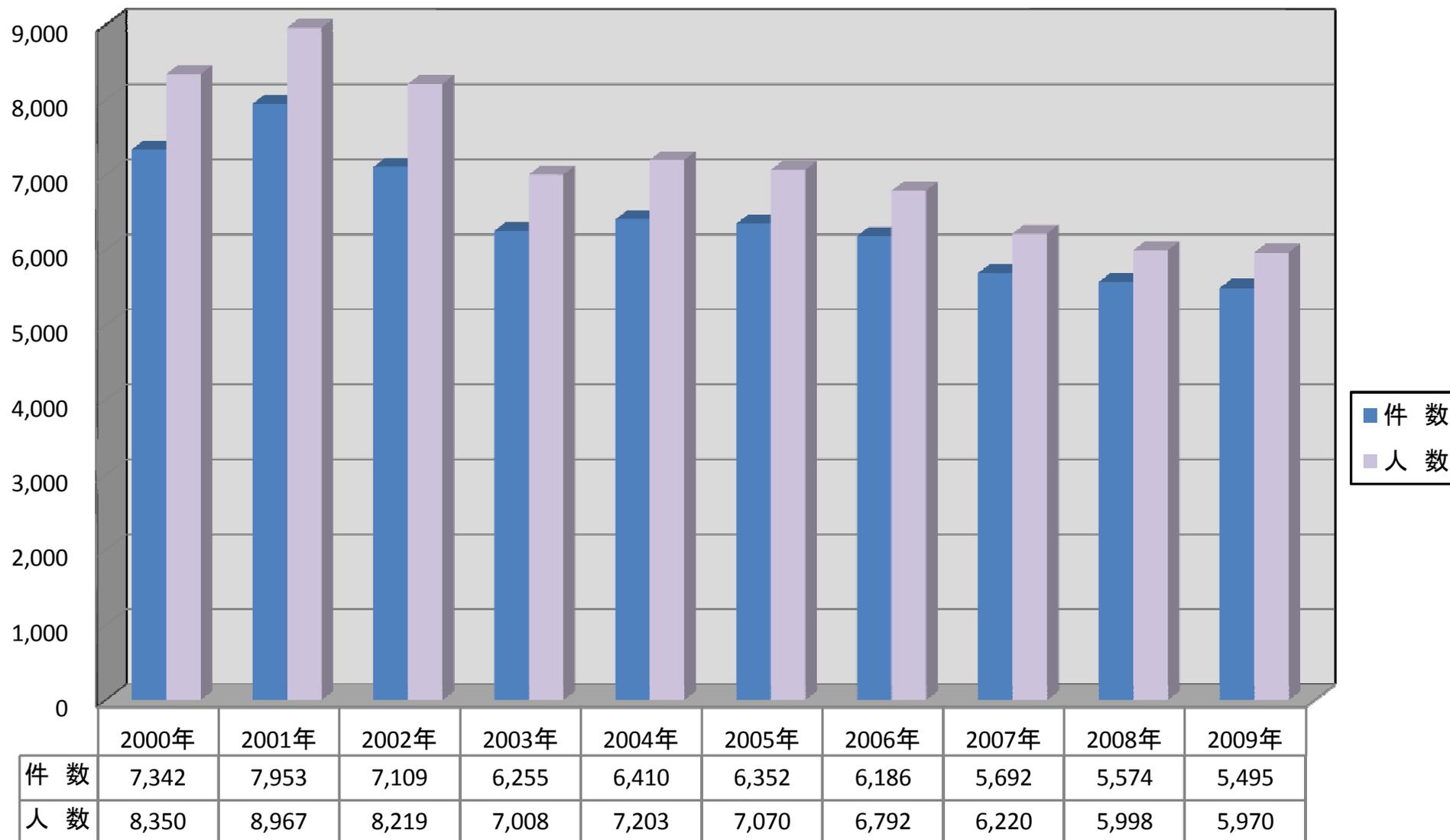
邦人援護件数・人数(事故・災害)



邦人援護件数・人数(犯罪加害)



邦人援護件数・人数(犯罪被害)



邦人援護件数・人数(死亡者・負傷者)

